観測前の準備

1-1 接続確認済みGNSS機器

観測方法	メーカー	機器名
RTK	TOPCON	HiPer SR
RTK(既設基準局使用)		HiPer HR (%1)
		HiPer HR(無線) (※1)
		HiPer VR
		HiPer VR(無線)
	SOKKIA	GSX2
		GCX3
		GRX3
		GRX3(無線)
VRS	/RS TOPCON	HiPer SR
		HiPer HR (%1)
		HiPer VR
	SOKKIA	GSX2
		GCX3
		GRX3
汎用NMEA	_	_
端末位置情報	_	-

※1「TILT(傾き)機能」は使用できません。

「RTK」と「RTK(既設基準局使用)」の違いについて

「RTK」とは、基準局を基準点上に新規で設置する観測方法です。

「RTK(既設基準局使用)」とは、既に設置されている基準局を使用する観測方法です。

「HiPer HR」「HiPer VR」「GRX3」の無線機能について

無線機能(内蔵セルラーを使用したネットワーク接続)は「RTK」でのみ使用できます。 「VRS」では使用できません。

「VRS」の場合は、インターネット接続が必要です

VRSでは補正情報取得のためインターネット接続が必要になります。

「汎用 NMEA」での接続について

接続確認済み機器以外でも、汎用のNMEA(GGA)フォーマットを出力するようにセットアップされた機器を接続して観測をおこなうことができます。

この時セットアップに関しては機器側で行うものとし、FIELD-TERRACEはNMEAフォーマットの受信のみとなります。

また「衛星情報(天空図)」を表示するため、NMEA(GSV)フォーマットも同時に出力できる機器である必要があります。

「端末位置情報」での接続について

FIELD-TERRACEをインストールした携帯端末の位置情報を利用して観測をおこないます。

1-2 座標系の設定

- ホーム画面の [メニュー] をタップします。
- [現場座標系 設定]を タップします。

		[]
データ管理	設計管理	図面表示
<u></u>	N	0
器械設置	測設	観測
Γ		
3D施工		



- 3 現場の座標系をタップして 選択します。
- ④ [ホーム] アイコンをタップ して戻ります。

†	現場座標系	
	座標系名	
● 第1系	長崎 鹿児島(北緯32度~27度で東 経128度18分~130度の区域、奄美 群島は東経130度13分まで)	
● 第2系	福岡 佐賀 熊本 大分 宮崎 鹿児島(1系の区域以外)	
● 第3系	山口 島根 広島	
● 第4系	香川 愛媛 徳島 高知	
3 第 5 系	兵庫 鳥取 岡山	
◉ 第6系	京都 大阪 福井 滋賀 三重 奈良 和歌山	
● 第7系	石川 富山 岐阜 愛知	



1-3 GNSSモードへの切り替え

- 1 ホーム画面の [メニュー] をタップします。
- 2 [TS→GNSS切り替え] をタップします。

1					
		[]			
データ管理	設計管理	図面表示			
<u>Q</u>		<u>0</u>			
器械設置	測設	観測			
$\int \nabla $					
3D施工					
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	 	ଙ୍ † [@ 1.000m -%			



GNSSモードに切り替わり ます。

えます。



TS モードに戻す場合は ナンプル模型データ 現場 新規作成 ホーム画面の「メニュー」-現場 切り替え 示 \square [GNSS→TS切り替え] を ш 評系 設定 2 タップして、TSモードに切り替 データ管理 図面表示 設計管理 GNSS → TS 切り替え **)** |@ 現場 個別設定